

コロナ禍で考える子どもの人権

新型コロナの影響により、学校行事がなくなりオンライン授業が増えるなど、子どもたちの取り巻く環境は変わってきました。ワクチン接種の問題などもあり、コロナによって子どもたちや保護者は対応に振り回されています。大切なのは、子どもたちのことを一番に考えて何がよいか？何が出来るか？です。大人や社会の都合だけで、子どもたちの心を置き去りにしてはいけません。コロナ禍だからこそ、子どもの人権をより考え、子どもたちが安心して過ごし、少しでも笑顔になれる環境をみんなで考えることが必要です。



新型コロナワクチンの接種は“強制”ではありません

ワクチン未接種による不当な差別を無くすために

山梨県の長崎幸太郎知事は今年1月23日に行った記者会見で、新型コロナワクチンの未接種者に不要不急の外出自粛を求める臨時特別協力要請を発表しました。そのとき長崎知事は県民に向けて、「ワクチンの2回接種を終えていない方につきましては、通勤、通学、通院など、やむを得ない事情がある場合を除いて、不要不急の外出や移動を自粛していただきますよう要請をいたします」などと訴えました。これに対し、全国各地から「未接種者への差別につながる」などとの批判の声が県に相次いだそうです。

そうした動きを受けて県側は翌24日、マスコミの取材に対して「差別の意図は全くございません」と回答。その後、要請文の内容を一部修正しました。ちなみに、政府(厚生労働省)のホームページ(新型コロナワクチンQ & A)の中の「新型コロナワクチンの接種を望まない場合、受けなくてもよいですか？」との問いに対して、「新型コロナワクチンは、発症予防効果などワクチン接種のメリットが、副反応などのデメリットよりも大きいことを確認して、皆さまに接種をお勧めしています。しかしながら、接種は強制でなく、あくまでご本人の意思に基づき接種を受けていただくものです。」「職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをすることのないよう、皆さまにお願いしています。仮に、お勤めの会社等で接種を求められても、ご本人が望まない場合には、接種しないことを選択することができます。」と回答しています。

ところで県内で、ワクチン未接種の人への差別行為がどれくらい起きているかを、行政の公表資料からうかがい知ることは困難です。一方、例えば2月3日付けのヤフー・ニュース(深月ユリア氏執筆)によれば、山梨県在住で「非接種者の差別を防ごう」と署名集め等をしている人から聞いた話として、「様々な方々から『差別された』『パワハラを受けた』『心理的に追いつめられた』という報告を受けます。(例:「接種しないと(職場を)クビにする」と言われた。大学生が未接種を理由に、就活の内定から外された。等々)」と書かれています。

また、2月8日付けの山梨日日新聞(12頁)の全面広告欄に、株式会社ゆうネット(代表取締役・堤猛氏)の【意見広告】「お子さんやお孫さんにワクチンを勧める前に～厚労省ホームページから『未成年接種』を考える～」が掲載されました。それによれば、政府が発表したデータも多数引用しつつ、未成年者にワクチンを接種することの問題を論じています。

特に、「これまで、コロナ感染死した健康な子どもは1人もいない」「未成年者のワクチン副反応疑い報告はすでに1606人(うち重篤者341人、後遺症8人、死亡者5人)」「接種後長期の十分な安全性データが得られていないことには留意が必要である(厚労省「審議結果報告書」より引用とのこと)」などと述べ、長期的な影響(後遺症など)が懸念される未成年者へのワクチン接種は慎重を期すべきと主張しています。

厚生労働省は1月21日に、ワクチン接種について5歳から11歳までの子どもも対象に加えることを正式に承認しています。(※今年3月から接種開始予定) いずれにしても、ご自身やお子様等が新型コロナワクチンの接種(または追加接種)を受けるかどうかは、信頼性の高い情報を幅広く調べたうえで、メリットとデメリットを総合的に勘案して判断されることをお勧めします。

活動報告

人権啓発パネル展 2月3日(木)～2月16日(水)、甲府市役所・甲府市南西公民館において、「命のメッセージ展」と題して人権啓発パネル展を開催しました。

※2月9日(水) 甲府市役所庁舎、2月16日(水) 甲府地区広域行政事務組合消防本部にて予定されていた人権啓発講演会は延期となりました。



人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

協賛企業：(株)成心設備、西関東開発(株)、(株)ウィルマート、(株)R&C、(株)フジコー、(株)渡辺工業所、甲府市管工事協同組合

<協賛>
山梨県
甲府市
甲斐市

甲府市立南中学校 (女子)

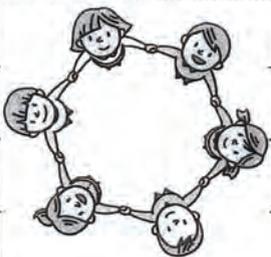
人権移動教室 講師の杉藤先生のお話を聞いて

2年

杉藤先生の話をして、人権の
大切さを学ぶことができました。
人権は1秒、1瞬でも忘れてはいけない
ことなので、忘れないようにしたいです。



私は、人権という言葉をして、難しいことなのかなと思っていました。
でも、人権とは、自分の命、自分の幸せを守ることだとわかりました。
ビデオを見て、世の中には、困っている人、苦しんでいる人がたくさん
居るんだなあと思いました。戦争の怖さも改めて感じました。
私はこれから、人権という言葉をして常に頭に入れておきたいと
思いました。そして、人にやさしく、親切にするための努力をして
いきたいです。そのために、バスの席をゆずって練習したり、命、幸せを
守るために何をすべきかなどをしっかりと考えて行動していきたいです。



今度は、私達が未来をつくらっていく番なので
今日話して頂いたことを忘れず、良い未来を
つくりたいと思います。

甲府市立南中学校 (女子)

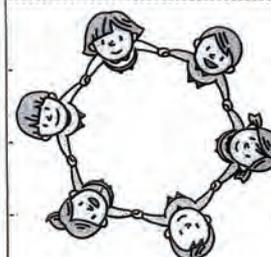
人権移動教室 講師の杉藤先生のお話を聞いて

2年

今回の講演会を通して、人はそれぞれ
顔が違うのと同じように、1人1人
考え方も違うということが分かった。
でも、世界中の誰に聞いても必ず同じことを答える



2つのことは、「死にたくない」「幸せになりたい」ということも分かった。
また、幸せになるためには、「自分さえ良ければいい」という考えをもたないで、
周りの人にもきちんと目を向けることが大切ということもよく分かった。
私はMFSの方々のように、困っている人がいたら、すぐに助けられるような
人間になりたいと思った。そのために今日、教えてくださった
ことを生かして、今回の講演を無駄にしないようにしていきたい。
また、「生きることに意味を求めて生きる」という言葉が、私の
心に響いた。今から気持ちを新たに、色々な考え方をもって



努力していきたいと思った。
「人権」とは、聞いただけで難しく見えるけど、
きちんと知っていくと、しっかり理解することが
できるものだということを知ることができた。

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。